

## 哲人政治家 李登輝の軌跡

李登輝年表 高岡ライオンズクラブ 2021.11.5 メンバースピーチ L.四津井 宏至

参考図書 李登輝著 「武士道解題」 小学館発行

- 1923 大正12 1歳 1月15日 台湾台北県三芝郷に生まれる 父李金龍は警察官 日本統治になって25年以上経過  
小学校4年 小学館の「児童百科事典」4円を購入 家が豊で父母も教育に熱心であった。
- 1936 昭和11 13歳 淡水公学校に転校 下宿生活をする 内省的傾向が強く、読書や学校の道徳教育を通じて自己修練の気持ち  
中学校の「使役」の時間には自ら便所掃除を志願する  
鈴木大拙、西田幾多郎の禅にのめり込む **倉田百三「出家とその弟子」** 阿部次郎「三太郎の日記」  
**善の研究** 奥の細道 **新渡戸稲造の「武士道」が人生を決定づけた。**  
台北高等学校入学 ガリ勉型でなく旧制高校特有の求道的雰囲気の中で思索に耽る。  
**カントの純粹理性批判** **トーマス、カーライル 衣装哲学** **ゲーテの ファウスト**
- 1942 昭和17 19歳 新渡戸稲造のあらゆる著作を読み 京都大学農学部農林経済科を選ぶ  
新渡戸に私淑した私は先生とよく似た人生観、奉仕精神に衝き動かされて生きてきた気がする  
京都帝国大学では農政学を学ぶ 柏祐賢教授（石川県出身）に師事する。 「北支の経済秩序」  
2004年（平成16年）京都で訪日時に再開
- 1943 昭和18 20歳 12月陸軍入隊 高射砲隊に配属
- 1945 昭和20 22歳 終戦になり京都大学に復学 兄李登欽（岩里武則）比島で戦死
- 1946 昭和21 23歳 京都大学中退 台湾大学に編入 **高座少年工らと帰国**
- 1942 昭和22 24歳 2, 28事件 陳儀白色テロ 18,000~28,000人が殺害 1949年~1987年まで38年間戒厳令施行
- 1948 昭和23 25歳 台湾大学卒業 台湾大学講師になる
- 1949 昭和24 26歳 10月中華人民共和国成立 **米国の二大失政（ソ連とヤルタ協定、戦後蒋介石を切り捨て、大陸に共産政権）**
- 1952 昭和27 29歳 台湾省農林庁技正 兼 経済分析係長  
この間アメリカ留学 アイオワ大学大学院で農業経済専攻
- 1956 昭和31 33歳
- 1958 昭和33 35歳 台湾大学非常勤教授 アメリカ、コーネル大学農業経済学博士課程修了

|      |      |     |   |                                    |  |
|------|------|-----|---|------------------------------------|--|
| 1971 | 昭和46 | 48歳 | 10月国民党に入党   | 中共が国連に加盟                           | 台湾が脱退  |
| 1972 | 昭和47 | 49歳 | 蔣経国が行政院長、李登輝が政務委員に任命                                  |                                    |  |
| 1975 | 昭和50 |     | 4月蒋介石死去   | 蔣経国が国民党主席就任                        |  |
| 1978 | 昭和53 | 55歳 | 台北市長就任  | 1981まで                             | 警察業務や 許認可業務の電子化で汚職をなくする。<br>「誠実」「自然」をモットーに 学校教師の退職基金をつくる、医師の待遇改革 不正をなくす。 |
| 1979 | 昭和54 | 56歳 | 国民党中央常務委員就任   | <b>1月に米中が国交を開く</b>                 | <b>4月 米国台湾関係法を作る</b> 12月高雄で美麗島事件   |
| 1981 | 昭和56 | 58歳 | 台湾省政府主席   | <b>夏に蔣経国から呼び出し 次期総統にするから準備しなさい</b> | <b>口外するな</b>   |
|      |      |     | 3月 長男 李憲文31歳で一人娘の孫を残して鼻腔癌で死去                          | <b>12月 台湾省主席に就任</b>                |  |
| 1984 | 昭和59 | 61歳 | 蔣経国総統の信任厚く 3月に副総統に就任                                  |                                    |  |
| 1986 | 昭和61 | 63歳 | 9月 初の野党 民主進歩党が結成されるも黙認                                | 台北市の都市計画信義区開発に 郭茂林にコンタクト           |  |
| 1987 | 昭和62 | 64歳 | <b>7月蔣経国 38年間の戒厳令を解除</b>                              |                                    |  |
| 1988 | 昭和63 | 65歳 | <b>1月 蔣経国の死去により 台湾人として初めての7代総統（代行）となる。</b>            | 報道の自由を認める。                         |  |
|      |      |     | 在米の宋美麗が後継総統を狙って圧力をかけるも排除                              | <b>7月 国民党の主席に就任</b>                |  |
| 1989 | 平成元  | 66歳 | 3月新嘉坡訪問   | 6月中国天安門事件                          |  |
| 1991 | 平成3  |     | 11月 初の憲法改正で国共内戦に終止符、非改選議員を全員退任に追い込む。 Apec に中華台北で加盟する。 |                                    |  |
| 1994 | 平成6  | 71歳 | 4月 総統を直接選挙にする。憲法を改正 総統の任期を4年にする                       |                                    |  |
| 1996 | 平成8  | 73歳 | 3月 台湾初の総統直接選挙で当選                                      | 5月就任                               | 就任演説 台湾ができたことを 中国大陸もできると強調する。  |
| 1998 | 平成10 | 75歳 | 台湾の学校の歴史教育を変える 「認識台湾」の教科書 <b>国家の将来は教育によって決まる。</b>     |                                    |  |
| 1999 | 平成11 | 76歳 | 7月 ドイツの放送局の取材で「台湾と中国は特殊な国と国の関係」発言                     |                                    |  |
| 2000 | 平成12 | 77歳 | 3月の選挙で民進党の陳水扁に敗れた責任を取って国民党主席を辞任 5月総統を辞任 台湾初の民主的政治移行   |                                    |  |
| 2001 | 平成13 | 78歳 | 8月 新党・台湾団結連盟を発足精神的支柱となる。9月に国民党から除名される。                |                                    |  |
|      |      |     | 4月に 心臓病治療の為に 岡山倉敷病院へ                                  | この時日本政府ビザの出し惜しみ 日本政府の肝っ玉はネズミより小さい  |  |
| 2002 | 平成14 | 79歳 | 11月 慶応大学でも講演予定が日本政府がビザ発給を拒み断念                         |                                    |  |
| 2003 | 平成15 | 80歳 | 4月 「武士道解題」発行  | 10月 宋美麗米国で死去                       |  |
| 2004 | 平成16 | 81歳 | 12月 家族旅行で名古屋、金沢、京都観光 京大の恩師を訪問                         |                                    |  |

|           |     |  |
|-----------|-----|--|
| 2007 平成19 | 84歳 | 6月 来日第一回後藤新平賞受賞国際文化会館にて 「生物学的植民地論」講演<br>靖国神社参拝兄の霊を慰める。 紅白歌合戦の「千の風になって」の歌を聴き長男の死に対して25年ぶりに気が収る。 |
| 2018 平成30 | 85歳 | 沖縄県石垣市の台湾出身者の戦没慰霊祭に夫婦で参列   |
| 2020 令和2  | 97歳 | 4月 米トランプ大統領「台北法案」に署名 7月30日死去   |

## 参考

|       |               | 統治期間       |
|-------|---------------|------------|
| 台湾総督府 | 明治28年（1895年）～ | 50年間 2世代   |
| 朝鮮総督府 | 明治43年（1910年）～ | 35年間 1,5世代 |
| 南洋庁   | 大正11年（1922年）～ | 23年間 1世代   |

## 高座台湾少年工

昭和17年から内地の人出不足を補うために台湾の優秀な少年 約8,400人が神奈川県の高座海軍工廠で働きながら勉学。

厚木、伊勢原、大和市にまたがる。 迎撃戦闘機 雷電 の製作に従事する。

昭和21年春 台湾に引き揚げる。

平成30年（2018年） 来日70年記念歓迎会が元少年工を迎えて大和市で開かれ 座間市に顕彰記念碑が建立された。

## 宗家の三姉妹

|    |     |                            |
|----|-----|----------------------------|
| 長女 | 宗靄齡 | 中華民国外務大臣 孔祥熙夫人             |
| 次女 | 宗慶齡 | 孫文夫人 最後まで共産党を支援 中華人民共和国副主席 |
| 三女 | 宗美齡 | 蒋介石夫人 105歳まで生き米国で死去        |
| 男  | 宗子文 | 中華民国の政治家、実業家 中華民国行政院副院長    |

## 台湾の映画

|      |      |               |               |
|------|------|---------------|---------------|
| 非情城市 | 海角7号 | K A N O（嘉義農林） | セデック、パレ（霧社事件） |
|------|------|---------------|---------------|